

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)エルグランデ刈谷寿	階数	階地上12階
建設地	愛知県刈谷市寿町四丁目305番地	構造	RC造
用途地域	第二種住居地域、第一種住居地域	平均居住人員	88人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年12月 予定	評価の実施日	2019年7月25日
敷地面積	880 m ²	作成者	加藤真
建築面積	267 m ²	確認日	2019年7月26日
延床面積	2,206 m ²	確認者	加藤知徳



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.5 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	67%
③上記+②以外の	67%
④上記+	67%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

音環境	3.3
温熱環境	3.3
光・視環境	3.1
空気質環境	3.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

機能性	3.6
耐用性	3.0
対応性	3.3

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.4

生物環境	1.0
まちなみ	3.0
地域性・	3.0

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

建物外皮の	N.A.
自然エネ	3.0
設備システ	5.0
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

水資源	3.4
非再生材料の	3.3
汚染物質	3.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

地球温暖化	4.3
地域環境	3.0
周辺環境	3.1

3 重点項目

①地球温暖化への配慮

4.3

③敷地内の緑化

1.0

外構緑化指数 (外構緑化面積/外構面積)	8.8 %
建物緑化指数 (建物緑化面積/建築面積)	0.0 %

②資源の有効活用

3.1

④地域材の活用

1.0

<外装材に使用した地域性のある材料>

なし

<建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材>

なし

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮
LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用
Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性
LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化
Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

みんなの環境活動を応援しています

3 対応性・更新性					3.0	0.29	3.4	3.4	1.00	3.3
3.1 空間のゆとり					-	-	3.8	3.8	-	0.50
1 階高のゆとり			階高3.0m以上		-	-		5.0	-	0.60
2 空間の形状・自由さ					-	-		2.0	-	0.40
3.2 荷重のゆとり					-	-		3.0	-	0.50
3.3 設備の更新性					3.0	1.00				-
1 空調配管の更新性		②			3.0	0.17				-
2 給排水管の更新性					3.0	0.17				-
3 電気配線の更新性					3.0	0.11				-
4 通信配線の更新性					3.0	0.11				-
5 設備機器の更新性					3.0	0.22				-
6 バックアップスペースの確保					3.0	0.22				-
Q3 室外環境(敷地内)					-	0.30				2.4
1 生物環境の保全と創出		独自③			1.0	0.30				1.0
2 まちなみ・景観への配慮		独自④			3.0	0.40				3.0
3 地域性・アメニティへの配慮					3.0	0.30				3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		独自④			3.0	0.50				-
3.2 敷地内温熱環境の向上					3.0	0.50				-
LR 建築物の環境負荷低減性										3.6
LR1 エネルギー					-	0.40				4.0
1 建物外皮の熱負荷抑制					-	-				-
2 自然エネルギー利用					3.0	0.25				3.0
3 設備システムの高効率化			BEI=0.80		5.0	0.50				5.0
4 効率的運用					3.0	0.25				3.0
集合住宅以外の評価					-	-				-
4.1 モニタリング					-	-				-
4.2 運用管理体制					-	-				-
集合住宅の評価					3.0	1.00				-
4.1 モニタリング					3.0	0.50				-
4.2 運用管理体制					3.0	0.50				-
LR2 資源・マテリアル					-	0.30				3.4
1 水資源保護					3.4	0.15				3.4
1.1 節水			節水機器などに加えて、節水型便器などを用いている。		4.0	0.40				-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用					3.0	0.60				-
2 雨水利用システム導入の有無					3.0	1.00				-
2 雑排水等利用システム導入の有無					-	-				-
2 非再生性資源の使用量削減					3.3	0.63				3.3
2.1 材料使用量の削減					2.0	0.07				-
2.2 既存建築躯体等の継続使用					3.0	0.24				-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		②	-		3.0	0.20				-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		独自	タイル		3.0	0.20				-
2.5 持続可能な森林から産出された木材					2.0	0.05				-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		独自	解体時に躯体と仕上材が容易に分別可能である		5.0	0.24				-
3 汚染物質含有材料の使用回避					3.6	0.22				3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用					3.0	0.32				-
3.2 フロン・ハロンの回避					4.0	0.68				-
1 消火剤					-	-				-
2 発泡剤(断熱材等)			ODP=0.01未満かつ、GWPが低い発泡剤を用いた断熱材等を使用		4.0	1.00				-
3 冷媒					-	-				-
LR3 敷地外環境					-	0.30				3.4
1 地球温暖化への配慮		①	ライフサイクルCO2排出率67%		4.3	0.33				4.3
2 地域環境への配慮					3.0	0.33				3.0
2.1 大気汚染防止					3.0	0.25				-
2.2 温熱環境悪化の改善					3.0	0.50				-
2.3 地域インフラへの負荷抑制					3.0	0.25				-
1 雨水排水負荷低減		独自			3.0	0.25				-
2 汚水処理負荷抑制					3.0	0.25				-
3 交通負荷抑制		独自	建物利用者のため適切な量の駐車・駐輪スペースを確保している		4.0	0.25				-
4 廃棄物処理負荷抑制					2.0	0.25				-
3 周辺環境への配慮					3.1	0.33				3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止					3.0	0.40				-
1 騒音		独自			3.0	1.00				-
2 振動		独自			-	-				-
3 悪臭					-	-				-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制					3.0	0.40				-
1 風害の抑制					3.0	0.70				-
2 砂塵の抑制					-	-				-
3 日照障害の抑制					3.0	0.30				-
3.3 光害の抑制					3.7	0.20				-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			広告物照明なし		4.0	0.70				-
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策					3.0	0.30				-

重点項目スコアシート
(仮称)エルグランデ刈谷寮

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				4.3
LR3-1	地球温暖化への配慮	4.3	0.10	
② 資源の有効活用				3.1
Q2-2	耐震性・信頼性	3.0	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	3.0	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.3	0.19	
③ 敷地内の緑化				1.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.09	外構緑化:8.8%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用			(評価ポイント)	1.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 (仮称)エルグランデ刈谷美

計画上の配慮事項	
総合	周囲への圧迫感を和らげ、街並み・景観に溶け込むような建築計画とした。また、高い外皮性能を計画し、省エネルギーで快適な室内環境を整えられるよう努めた。
Q1 室内環境	外皮性能として、住居部分は日本住宅性能表示5-1断熱等性能等級4を満たす計画とし省エネルギーで快適な室内環境を整えられるよう努めた。
Q2 サービス性能	躯体の耐用年数として、日本住宅性能表示基準における劣化等級3を満たす計画とし耐用年数向上を図る計画とした。
Q3 室外環境(敷地内)	敷地を道路から後退させる事で空地を設け、風の通り道を確保する計画とした。
LR1 エネルギー	適切な断熱材を施し外皮の熱負荷抑制に努めた。
LR2 資源・マテリアル	解体時に躯体と仕上材が容易に分別可能な工法とし、リサイクルの促進を図った。
LR3 敷地外環境	屋外照明に関して広告物照明は設置せず、適切な範囲で計画して外に漏れる光に配慮した。
その他	特になし。